

☐ 震災に関連する医療支援について

DMATを市立輪島病院へ派遣 1/1(月)~3(水)



DMATミーティングの様子



輪島市内を走る車内からの様子

蛍光灯が落下しそうになるなかで、他県のDMAT隊とともにミーティングを行ったあと、車に乗り、家屋が潰れる街中を移動し活動した。

JMATを能登地域の避難所へ派遣 1/19(金)~

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、連絡員の多職種編成のもと、能登地域の避難所で、血栓症が疑われる方等への診察を行った。

1/19(金)は、七尾市の3つの避難所(山王小学校、矢田郷コミュニティセンター、小丸山小学校)で診察を行った。



小丸山小学校(七尾市)

避難所となっている小学校でも地面のコンクリートが割れたままとまっているのが分かる

地域の医療体制の維持

石川県内の他の急性期医療機関の負担軽減のため、災害以外の急性期患者の転院受入れや救急患者の受入れ対象の拡大を行い、地域医療体制の維持に努めている。

DMAT指揮所(DMAT活動拠点)を附属病院内に設置し、中核的役割を担った 1/4(木)~22(月)



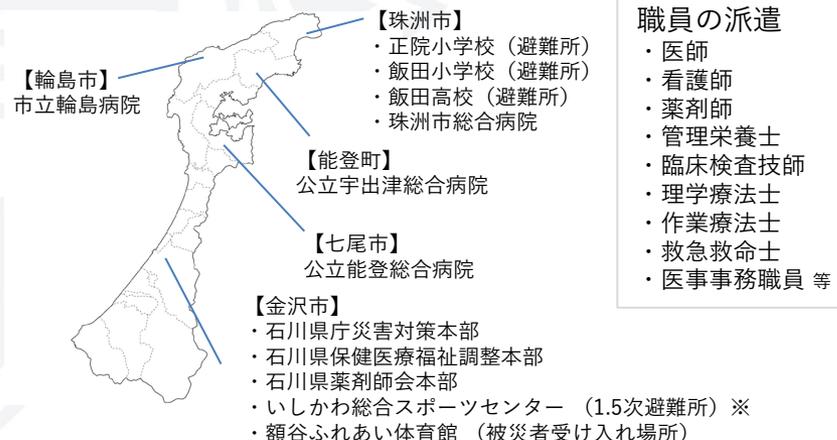
自衛隊による附属病院への搬送



能登の病院から患者さんを乗せてきた救急車

他県からのDMATの協力を得て、能登地域の病院等から搬送される患者の入院先を調整した。また、重度の骨折である開放骨折や、脳血管障害の患者を中心に附属病院での受入れを行った。

石川県や石川県JRAT等の要請に基づく職員派遣 1/1(月)~



※特に、いしかわ総合スポーツセンターで避難者の体調管理に対し、臨床系の教員はもちろんのこと、基礎系の教員も参加して、万全の対策・対応に協力している。